

事務事業評価シート 平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

事務事業名	コード	26900	制度資金利子補給事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
				一般	7	1	2		
施策体系	基本施策	2	商工業の振興	根拠法令	旭市中小企業融資資金利子補給条例等				☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☒ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業
	施策の展開	4	商業の振興	戦略事業	28	中小企業融資と利子補給			
	施策の展開			戦略事業					

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		・旭市中小企業資金融資制度に基づき中小企業者に融資した貸付金に対し利子補給を行い、中小企業の負担軽減及び振興を図る。 利子補給率 ・平成28年3月31日以前融資開始分 2. 50% ・平成28年4月1日以降融資開始分 2. 15%		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
・貸付金に対する利子補給により、中小企業者の負担軽減及び振興を図るために開始。		・東日本大震災や長引く景気の低迷を受け、中小企業者を取り巻く環境はますます厳しいものとなっている。	・県内市町村の中では比較的高い利子補給率を設定している。また、旭市中小企業資金融資制度の利用者が多いことから、本利子補給事業に対する満足度は高いと思われる。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (30年度の決算)		単位:千円	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (予算)
1.旭市中小企業資金利子補給金	17,928	旭市中小企業資金利子補給金	21,845	21,378	20,148	17,928	20,243
② 特定財源の内訳 (30年度の決算)		単位:千円	事業費計 (A)				
1.国庫支出金	0	1. 国庫支出金	千円	21,845	21,378	20,148	17,928
2.都道府県支出金	0	2. 都道府県支出金	千円				
3.地方債	0	3. 地方債	千円				
4.その他	0	4. その他	千円				
		5. 一般財源	千円	21,845	21,378	20,148	17,928

前年度増減理由	新規融資額等が減少したため。(H29新規融資件数42件 317,500千円、H30新規融資件数43件 244,180千円)
---------	---

従事職員数 常時 1 人 最大 1 人 × 1 日 = 延べ 1 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

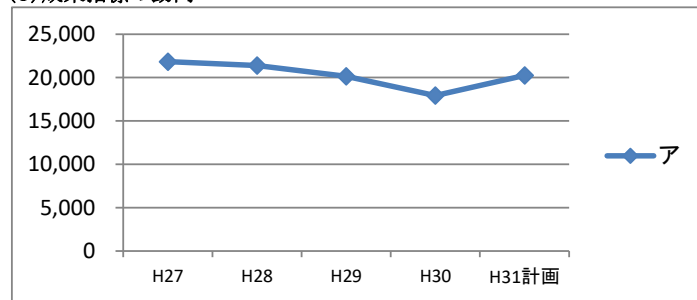
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
	30年度実績 (30年度に行った主な活動) 旭市中小企業資金融資制度を利用している中小企業者のうち、市税を完納している等の条件に合う対象者に対し、銀行を通して利子補給金を交付する。	ア 利子補給件数 (延べ)	件	281	270	274	254	273
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	イ 利子補給を交付した中小企業者数	件	225	225	194	181	250
	対象 旭市中小企業資金融資制度を利用している中小企業者のうち、利子補給の対象となる者。 意図 支払った利子の一部を補填することで、負担が軽減され経営の発展につながる。 対象 意図	④ 成果指標名	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
		ア 利子補給総額	千円	21,845	21,378	20,148	17,928	20,243
		イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
	④⑤			(11)
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	比較 26年度 27年度 28年度 29年度 30年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31計画
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	新規融資額が減じた為、利子補給額も減少した。 (H29新規融資件数42件 317,500千円、H30新規融資件数43件 244,180千円)				
	③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 ()
		R1.10頃	制度融資のPRを行う			通年 例年通り